指定管理業務総括評価票一覧《令和5年度》

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																							3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫	総合評価	評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
—	—	—	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	外部委託事業者に対して協定書等を遵守させている。	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	個人情報保護に関する規程が整備されている。	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	情報公開に関する規程が整備されている。	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	業務日誌等を適切に整備、保管している。	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	業務の実施体制に関する評価	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	利用者数、稼働率等は、適正な水準にある。	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	前回の評価を受けて、適切な改善が図られたか。	業務の内容・水準に関する評価	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	経費が縮減され、又はその縮減に向けた努力を行っている。	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	経費の収支等に関する評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」の総合評価	A(優　良)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良　好)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準におおむね沿った管理内容である。 C(課題含・多)＝協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。 D(要改善)＝協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。
1	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 地域包括支援センター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	協定書に基づき、業務を実施しました。今後も法令・条例を遵守し、適切に事業運営を行い、さらなる地域福祉の発展に努めてまいります。 また、行政や医療・介護機関、地域住民等と連携し、地域包括ケアシステムの構築を進めてまいります。
			法令等を遵守し、事業を実施した。また、協定書等に従い、各種報告書を提出した。																			市内で、介護予防教室及び権利擁護に関する講演会を開催した。また、介護者交流会や認知症カフェ等の自主事業を実施した。広報誌、ホームページ及びSNS等を利用し、広報活動を実施した。																						適切に執行しました。							
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 (高齢福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業の内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上問題はない。
			特に問題なく、適切に取り組んだ。																			特に問題なく、適切に取り組んだ。																				特に問題なく、適切に取り組んだ。							

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																							3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫	総合評価	評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
2	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 身体障害者福祉センター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も、警戒を怠らず、感染予防策を継続し、感染者発生時は、迅速に市と情報共有し、拡大防止に努めながら運営を行った。
			新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、5類移行後も十分配慮しながら運営を行った。																			利用者支援に関する課題については、その都度協議し、細かな対応を行った。																					適切な事務を執行した。							
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 (障害福祉課)	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	人員に欠員が生じた際にもデイサービス利用者には、一切影響が生じないよう工夫を凝らしている。また、手話講習会（初級クラス）では、応募者が多く、結果として予定を上回る受講者数となったが、多くの方が修了に至っており、高く評価できる。 一方で創作的活動講座や入浴サービスなど外部の地域障害者に対する事業運営では目標をやや下回ったと思われる部分もあるが、全体ではおおむね適正な運営が行われたと考える。
			人員体制に欠員が生じ、補充できなかった時期があった。このため、入浴サービス利用者に対する送迎ができないなど事業運営に影響も生じている。																			デイサービス事業については、課題なく計画どおり実施できているが、創作的活動講座では本来3講座実施すべきところを、2講座のみとなり、在宅障害者が集う機会が縮小され、残念な結果となったものの、それ以外には、適切な事業運営が図られている。																					欠員補充等ができず、人件費に余剰金が生じている。							
3	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 障害者地域自立生活支援センター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	A	A	B	—	—	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	法令、協定書に従い、事業運営をいたしました。新型コロナウイルス感染症に配慮しながら参加者の安全対策を図り、前年度より多く講習会を行いました。 事業継続計画書を作成し、今後運用していきます。 経費縮減に努めました。
			法令・条例を遵守し、事業を実施しました。緊急時マニュアルを大幅に見直しました。																			事業計画に則し、事業運営をいたしました。 開催案内、ホームページなどを活用し講習会や講演会を実施しました。																					経費縮減に努めています。							
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 (障害福祉課)	B	A	B	—	—	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	緊急時マニュアルの見直しを行うなど、安定的な事業運営に向けた取組に努めている。 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行したことにより、感染対策を行った上で積極的に講習会を行うことで、事業参加者数の増加につながって いる。 昨年度に行った利用者アンケートを精査し、事業内容の向上につなげていくことで、利用者数が対前年度比で約7%（621人）増加するなど、より満足度の高いサービスを提供していこうとする姿勢が見られた。
			適正な人員配置がなされている。各種規定やマニュアルの整備がなされている。																			事業運営はおおむね良好である。 令和5年11月から令和6年3月にかけて利用者満足度アンケートを実施するなど、事業内容の充実と適正化に向けた取組が見られた。																					前年度と比較して経費縮減に努ており、状況はおおむね良好である。							

No.	施設名等	区分	1 実施体制																			2 内容・水準																				3 収支等					4 総合評価
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫	
4	【施設名】武蔵村山市民総合センター 訪問看護ステーション 【指定管理者】一般社団法人武蔵村山市医師会	自己評価（指定管理者）	D	D	D	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	D	D	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	ー	C	B	C	B	C	C	C
4	【所管部課】健康福祉部高齢福祉課	所管評価（高齢福祉課）	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	ー	C	B	C	B	C	C	C
5	【施設名】武蔵村山市民総合センター ボランティア・市民活動センター 【指定管理者】特定非営利活動法人むさしむらやま子ども劇場	自己評価（指定管理者）	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	A	A	B	B	A	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B
5	【所管部課】協働推進部協働推進課	所管評価（協働推進課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B

5 特記事項

評価区分：
A＝優良
B＝良好
C＝課題含・多
D＝要改善

No.	施設名等	区分	1 実施体制	2 内容・水準	3 収支等	5 特記事項
4	【施設名】武蔵村山市民総合センター 訪問看護ステーション 【指定管理者】一般社団法人武蔵村山市医師会	自己評価（指定管理者）	常勤換算2.5を確保が困難となった。協定書に従い書類の整備、個人情報の管理を実施した。事故災害等の緊急連絡体制は、定期的に見直しを図った。	維持管理については、衛生管理、整理整頓を行っている。省エネ、省資源についても職員に周知している。ホームページを開設し、市民の事業内容の理解に努めた。利用者等からの苦情は、迅速に対応し、職員間でカンファレンスを実施した。 利用者アンケートは、毎年実施しており、実施後は回答内容について検討会を行った。	毎月、会計士及び医師会担当理事による確認があり、実施されている。	職員の退職により人員の確保が困難となり、11月30日付で事業休止となった。
4	【所管部課】健康福祉部高齢福祉課	所管評価（高齢福祉課）	人員体制については、適正な数の確保に課題がある。その他は、特に問題なく、良好である。	事業内容については、協定書等の条件を満たすものであり概ね適切に管理等ができている。 また、利用者アンケートの結果を反映させるなどサービスの質向上にも努めている。	人員確保、人件費については予算どおり執行ができていない。	指定期間満了まで事業を継続できず、年度途中で事業休止となったが他の事業所へサービスを引き継ぐなど利用者に影響がでないよう対応することができた。
5	【施設名】武蔵村山市民総合センター ボランティア・市民活動センター 【指定管理者】特定非営利活動法人むさしむらやま子ども劇場	自己評価（指定管理者）	法令に従い必要な人員で運営している。経理やデザイン等の専門的なスキルを持った職員の活用とともに、情報の共有を心がけ、できるだけ属人化を避けています。 また年間延べ30回を超える研修を行い、今年度は特に外部に実際に足を運ぶ研修を増やしました。ボランティア・市民活動に役立つ専門的な知識の習得に努めています。	昨年５月のコロナ５類移行以来、徐々に個人や団体の活動もコロナ以前の状況に戻りつつあります。貸部屋の利用状況で見ると、昨年度と比較して、利用率で38.2%→36.5%、利用人数で9,088人→12,493人となっています。これについては、(1)元々近隣の同種施設と比較しても活動再開の立ち上がりが早かった。(2)夜間の利用が以前の水準に戻らない。(3)一つひとつの集まりの人数が増えている。という分析をしています。 また、講座や座談会などのワークショップなど、リアルで集まる機会を増やしました。	物価高騰による支出の増大を最小限に抑え、また事業収入を増やす努力を続けています。	今年は、コロナの5類移行による「ボランティアや市民活動の再起動の年」、また5年間の指定管理を仕上げる年として位置づけました。目的を持ったボランティアの養成講座を計10回、市民活動に直結するスキルアップ講座を36回。その他、市民活動体験ワークショップ「まなぶときでる」を毎月開催、その他、「むさしむらやま つながる座談会」、「市民活動見本市元気フェスタ」などを開催し、個別のボランティアマッチング、相談事業などと合わせ、積極的にボランティア・市民活動を支援しました。また4年ぶりとなる長期休暇中の学生を対象とした「夏体験ボランティア」も行いました。 コロナにより2期目の指定管理期間をホップ・ステップとすることはできず、再度のホップ期間となってしまいましたが、ボランティアや団体との関係性の構築と、職員のレベルアップをじっくり行えたことで、次の段階へ進む準備が整ったと考えています。
5	【所管部課】協働推進部協働推進課	所管評価（協働推進課）	人員の配置や規程の整備等、実施体制について、おおむね適切であった。職員に対する研修も、実務に役立つ内容を中心に積極的に実施されていた。	各項目おおむね適切な管理運営を行っている。特に、市民活動団体の助成金申請手続を補助し、市民活動団体の書類の作成能力を向上させたことは評価できる。 また、元気フェスタに出展した市民活動団体の活動紹介パネル展を行う等、市民活動団体の横のつながりが生まれるような工夫も見受けられた。	経費の削減及びイベント等による収入の増加に向けた取組をしていることは評価できる。	各項目おおむね適切な管理運営を行っていた。 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを背景として、ボランティアや市民活動団体の活動が再開され、ボランティア・市民活動センターとしても第 7回市民活動見本市「市民発‼元気フェスタ」の実施や「夏の体験ボランティア」の再開、コラボ・バによる市民活動団体の広報等、事業が充実した年となり、施設本来の機能を発揮できたと考えられる。 収支については、収支決算が赤字であった令和3年度以降は黒字となっている。 今後も、広報やイベントを通じて市民活動を知ってもらうきっかけを市民に提供するとともに、コロナ禍により活動自粛を余儀なくされていたボランティアや市民活動団体の活動の活性化に向けて取り組んでいただきたい。

No.		区分	1 実施体制																						2 内容・水準																								3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	1総括	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	2総括	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	3総括		評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
6	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘高齢者サービスセンター 高齢者在宅サービスセンター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山正徳会	自己評価 (指定管理者)	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A	A	A	B	A	A	令和5年度も感染症対策の徹底をしながら、以前のような提供を心掛けることで、利用者と密にコミュニケーションを取り新たな情報収集や、利用者・ご家族の要望を把握し経過的に状況を振り返りながら楽しんでいただける活動の提供が出来た。設備や備品に関しては、経年劣化もあり修繕が必要な個所があるため、市の所轄とも協議しながらサービスに影響のないよう対応している。今後も何かあった際にはお願いしたい。稼働状況は、多くの方にご利用していただいていて、安定している。
			現在人員の確保はできているが、病欠等で欠勤が発生した場合や、退職者が出てから、新たな人員確保までの時間がかかってしまい、職員の負担になっている。																			引き続き、感染症対策を徹底し、利用者が興味のあるプログラムを提供することで毎日の生活に活気や生きがいを感じてもらえるよう支援し、大きな事故もなく運営できた。																						財務的には安定した運営が行えている。						
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 (高齢福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業内容及び水準については協定書等の条件を満たすものであり、運営上問題はない。 収支等についても特に指摘するところはなく適正に行っていると考えている。
			特に問題はなく、良好である。																			適切に管理等ができており、特に問題はない。																						適正である。						
7	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘高齢者サービスセンター 地域包括支援センター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山正徳会	自己評価 (指定管理者)	A	A	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	A	B	A	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	A	A	A	B	—	B	A	A	B	B	B	B	法令・協定書に基づき、業務遂行した。 地域のネットワークを活かし、支援を必要とする高齢者を早期に発見・介入に努めた。 民生委員や自治会など高齢化により機能低下している地区もあるので、新たな地域活動の担い手を探すため、前期高齢者に焦点を当てた事業を実施した。
			職員の定着が課題であるが、必要な資格者を不足無く配置できた。																			協定書等に従い、施設を開所した。 広報誌やSNSを活用して事業の周知を図るとともに、利用者アンケート等の意見を参考に相談しやすい対応や環境作りを心掛けた。																						適切に執行した。						
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 (高齢福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業の内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上問題はない。
			特に問題なく、適切に取り組んだ。																			特に問題なく、適切に取り組んだ。																						特に問題なく、適切に取り組んだ。						

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																							3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
8	【施設名】 武蔵村山市立のぞみ福祉園 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	協定書及び仕様書を遵守し、利用者や市民に対する福祉サービスの向上を意識しながら業務にあたりました。 新型コロナウイルス感染症予防対策として、利用者の登園前検温や職員の出勤前検温、マスク着用、手指消毒の徹底を行いました。 感染防止対策推進事業の補助金を活用し、利用者及び職員に対してPCR検査を実施しました。また、職員を対象に東京都の集中的検査事業を利用し抗原検査を実施しました。 利用者、職員が新型コロナウイルスに感染した場合には、感染拡大防止の措置としてその都度、市と協議し利用者に対して利用自粛をお願いいたしました。また、接触のあった利用者、職員を対象に抗原検査を実施しました。 ※利用自粛期間:12月5日～8日(4日間) 新型コロナウイルス感染症等に対して感染防止対策を十分に図り、体育館まつり、福祉のつどいに出店をしました。また、地域のこども食堂やイベントへも出店しました。 地域交流としての第34回のぞみまつりは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としました。代替行事として、市民向け施設公開を開催しました。 ※来園者数:20組31名 利用者の社会的活動の支援として、利用者で組織する互助会において外出行事(映画鑑賞、いちご狩り等)の支援を行いました。
			適正な運営体制を整えて、事業実施にあたりました。																			事業計画に基づき、福祉サービスの向上に努めました。																					法人内で毎月会計検査を受け、適切に処理しております。						
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 (障害福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	協定書及び仕様書を遵守し、適切に管理運営が実施されている。利用者の登園前検温や職員の出勤前検温の実施、マスクの着用、手指消毒の徹底など新型コロナウイルス感染症予防対策を行ったことは評価したい。また、感染防止対策を十分に図り、体育館まつり、福祉のつどい、地域のこども食堂やイベントへも出店するなど、行事に積極的に取り組んでいる。 地域交流としての第34回のぞみまつりは拡大防止のため中止としたが、代替行事として、市民向け施設公開を開催するなど、今後も適正な園の運営を期待したい。
			関係法令を遵守し、適正な体制が整えられている。																			事業計画に基づき、適正に事業が実施されている。																					適正な会計処理が実施されているが、予算の執行状況を踏まえた計画的な予算管理に努めていただきたい。						

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																							3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		
9	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター （緑が丘コミュニティセンター・男女共同参画センター・第一老人福祉館） 【指定管理者】 株式会社シーズプレイス・東建社グループ	自己評価 （指定管理者）	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	A	B	A	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	A	A	B	B	A	B	A	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	長年働いていた職員の退職や夜間職員の人員不足があった際に他の職員へ負担があったため、適正な人員の確保が課題ではあるが、事業遂行に関しては適正な人員で運営できた。	利用人数や団体も増加し、利用者のニーズにも応えられているが、頻繁に冷房設備の不調があり、利用者に不便をかけてしまう期間があった。	適正に執行した。	事業、管理ともに適正に執行できた。ひとり親支援事業では毎月開催している食品配布が好評で、顔が見える支援に繋がった。また、ゆーあいフェスタにおいては参加者がイベントを企画し、広報、調整、設営、運営を一貫して手掛けることができ、エンパワーメントに繋がった。 値上げや使用量の増加に伴う水道光熱費などの固定費の節減が引き続き課題。
	【所管部課】 協働推進部協働推進課	所管評価 （協働推進課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	A	B	A	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	職員の退職に対して本社からの職員派遣などにより、柔軟な対応ができていた。職員の研修については、より一層計画的な実施を期待したい。	施設管理について、おおむね適切であった。 自主事業については、ふれあいセンターフェスティバルの実施により、事業参加者数が前年度より大幅に増加した。 新規参加者の獲得に課題が残る一方で、連続講座やひとり親家庭食品配布を通じて、その場限りではなく、つながりをもった関係性を築いていることは評価できる。	おおむね適切な予算執行がなされている。	各項目おおむね適正な事業運営を行っていた。夜間の施設利用時間における緊急時の対応については、マニュアルなどにより体制を整えたい。 参加費の徴収などによる自主財源の確保は、評価できる。 講座等による参加者とのつながりは、地域における男女共同参画の視点をもった人材の育成が期待できるため、今後は女性リーダー育成事業へつなげてロールモデルとなるような人材の確保に努められたい。
10	【施設名】 武蔵村山市総合体育館及び体育施設（野山北公園プール外7施設） 【指定管理者】 フクシ・オーエンス共同事業体	自己評価 （指定管理者）	A	A	B	B	B	A	A	A	B	B	B	A	B	A	A	B	A	A	A	A	B	B	B	B	A	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	新たな指定管理期間の1年目がスタートした。法令等を遵守し事業を実施した。 また、協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	法令・条例を遵守するだけではなく、サービスの向上や利用者数の増加を常に意識した運営を心掛けている。	収入、支出とも予算通りとなった。	新たな指定管理期間の1年目がスタートした。前年度までの経験を活かし、利用者からの意見を取り入れ、ホームページのリニューアル、混雑状況把握システムの導入、SNS発信強化、自動販売機4台増設を実施した。収支面では予算書と比較すると、利用者数や収入が目標や予算を上回る結果となり、一定の効果があったと考える。 施設面では昨今、水光熱費が安定しないことから節電、節水を心掛けた管理を行なった。また、冷房設備が一部故障する事象もあったが、迅速に対応した。屋外施設の野山北公園プールではプール槽の溶接張替えを市に実施していただくなど、施設の老朽化が課題とされる中、今後は計画的な修繕計画を立てた施設運営が必要とされる。
	【所管部課】 教育部スポーツ振興課	所管評価 （スポーツ振興課）	A	A	B	B	B	A	A	A	B	B	B	A	B	A	A	B	A	A	A	A	B	B	B	B	A	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	概ね、協定書、事業計画書等に沿った管理内容である。代表企業は現在4期目の運営であり、長年の経験を生かした効率の良い管理・運営を行っている。	概ね、協定書、事業計画書等に沿った内容であった。 利用団体との施設利用に関するトラブル等に関しても、都度冷静に対応し、円滑な運営を心掛けている。 施設等の維持管理に関しては、老朽化に伴い修繕が多くなることが予測されるため、計画的に行う必要があるので、今後の対応方法について検討してもらいたい。	概ね、適切であった。	概ね、基本協定書及び事業計画書の内容に沿った施設運営がなされていると評価できる。 また、収支状況においては経営努力により利用料金の項目で予算額を上回っており一定の効果があったと考えられることから、今後も継続していただきたい。 今後も、施設の安全管理及び事業の充実を図り、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛けながら、総合体育館を中心に市のスポーツ振興に寄与していただきたい。

評価区分：
A＝優良
B＝良好
C＝課題含・多
D＝要改善

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																					3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
11	【施設名】 武蔵村山市民会館 【指定管理者】 株式会社ケイミックスパブリックビジネス	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	—	B	B	C	B	C	B	B	本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、イベント開催時における収容定員及び声出しや歌唱などの制限もなくなり、事業や各種イベントも従来の形で開催されるようになり、貸館の利用などもコロナ以前のような数値に回復してきました。自主事業も従来の形で行うことが出来るようになり、最低限の感染対策のもと、多様なジャンルの鑑賞事業を開催いたしました。 ただし、財政面では利用料金収入の増収と、省エネ対策及び経費の縮減により収支全体の改善に努めましたが、エネルギー価格の高騰により光熱水費が大幅に予算超過したこと、受託事業収入が予算を大幅に下回ったことが影響し、マイナス収支となりました。
			常勤職員、窓口スタッフ、外部委託(舞台、設備、清掃)は事業計画書に即した体制で、法令・条例・協定書に基づき適切な運営に努めました。																			協定書、仕様書に従い、適切に運営、また事業についても計画書に即した内容で、実施いたしました。 ご利用者の利便性と省エネを考慮して運営し、記録等の管理も適切に行いました。																					全体収支がマイナスとなったため、改善にむけた収入増及び、経費節減等に努めます。						
	【所管部課】 教育部文化振興課	所管評価 (文化振興課)	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	A	A	B	B	A	A	B	B	B	—	B	B	C	B	C	B	B	指定管理者として、自覚と責任感を持って、管理運営をしている。 令和5年度は、エネルギー価格の高騰等不可抗力的な要因もありマイナス収支となったが、事業計画書及び仕様書に基づき適切な施設の運営を行っている。 また、苦情、要望等に対して丁寧な利用者対応にも努めている。今後も収支改善に応じた対応が必要であり、各種対策を講じたうえで、適切な管理運営を行うとともに、これまでの経験等を活かした事業展開を望む。
			事業計画書及び協定書等に基づき概ね適切に運営管理されている。																			協定書、仕様書に基づき、大きなトラブルもなく、適切に管理運営が行われている。 また、苦情等の対応についても迅速かつ丁寧に行い利用者が快く利用できるよう努めている。																					収支全体の改善を望む						
12	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 精神障害者地域活動支援センター 【指定管理者】 医療法人社団　円祐会	自己評価 (指定管理者)	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	－	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	協定に基づき事業を実施した。「みんなで唄おう」や「そうめん祭り」などのプログラムや行事も再開し、集まって交流する機会を昨年度より更に多く提供することができた。 相談事業については、特に権利擁護等に関する連携が前年度より増加していた。 今後も利用者のニーズにあった居場所の提供と相談内容の多様化に対応できるよう、職員のスキルアップは引き続き課題ととらえている。
			必要な資格を有する人員を基準より多く配置し、専門性の高いサービスの提供に努めた。 関係機関との連携は多岐にわたり密に行った。																			新型コロナ対策を継続しながら、休止していた唄のプログラム等を再開した。 年末年始等長期休館の際は、利用者の立場に立ち、緊急時の相談に対応できる体制を確保した。																					適正に執行した。						
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 (障害福祉課)	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	－	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	協定書に基づき事業が適正に実施されている。人員体制では精神保健福祉士を5名、相談支援専門員を4名配置するなど充実している。 また、市、関係団体等との連絡調整は毎週申し送りをするなど頻繁に行われており、さらに、長期連休中に臨時的に開館するなど福祉の向上に寄与していることは評価できる。 今後は利用者のニーズにあった居場所の提供と相談内容の多様化に対応できるよう、職員のスキルアップに期待したい。
			専門性の高い業務において体制が整えられていて、概ね良好に実施されている。																			協定書等を遵守し、目立った苦情もなく、適正な内容・水準を維持している。																					適正に執行されている。						